



Company data

代表

**野元 京平**

建築分野の大学を卒業後、施工会社の現場監督を皮切りに、設計事務所や不動産業の営業職など多様な経験をおよそ10年積み重ねる。その過程を振り返り、ホームインスペクションの仕事を自身の適職だと思い立ち、独立を決意。2019年にレイワーク（同）を設立した。

Personal data



## 物件オーナーにとっての懐刀となり 建築の不備を見極める住宅診断のプロ

嶋 まずは、レイワーク（同）さんで手がけられている「ホームインスペクション（住宅診断）」という事業について教えていただけますか？

野元 ひと言で言うと、建物の不備や劣化状態などをチェックしていく仕事です。特に大手ハウスメーカーなどの場合、一人の現場監督がいくつも現場を抱えていて、すべてを完璧に把握するのはリソース的に難しいというケースも珍しくありません。そうした現場に当社が入り、新築であれば建築時の不慮の見落としを、中古物件であれば現状建物に生じている改修点などを洗い出すことで、より安心・安全に引き渡しが可能なようサポートを行っています。

嶋 野元代表がいつ頃この事業と出会われたのか、とても気になります。

野元 私は建築系の大学で学んでいて、もともと建築業界で独立したいと思っていました。そこで、自身がどの分野に適正があるのか見極めるため、現場監督や設計デザイン、不動産営業など、業界内でさまざまな業種に挑戦しました。合計10年ほどの経験を経て、実際の現場やお客様との距離感が近いと同時に、最も私自身の持つ経験を生かせるのがホームインスペクションだと感じ、2019年に当社を設立しました。

嶋 不備が生じた建物についてはどのような過程を踏み、お客さんのもとへ渡るのでしょうか？

野元 新築の場合は引き渡し前にチェックが入りますので、ハウスメーカーが直した後に、お客様へお渡しすることとなります。中古物件であれば、修繕費のコ

ストを算出したうえでお客様が購入を再度検討したり、購入後に修繕したりという形になりますね。建物検査を実施した実績が担保されることで後のトラブルも回避しやすく、売り主様とエンドユーザー様、双方のメリットにつながります。

嶋 やはり不動産を買う方は不安もあると思いますし、野元代表のような存在は非常に大きいもの。お客さんとのコミュニケーションで特に大切にされている点などはありますか？

野元 お客様に対しては、とにかく誠実かつスピーディに対応することを心がけています。また、報告書制作や説明の際には専門用語を使わず、不動産を購入される方にもわかりやすいよう、問題点や改善点をお伝えするという意識も欠かしません。そうした尽力のもと、お客様から感謝の声をダイレクトにいただくと、一番のやりがいを感じるんです。

嶋 最後に、今後の展望について教えてください！

野元 これからも検査会社と施工会社との距離感をしっかりとって第三者機関として付度等を徹底的に排除し、誠実に業務を全うしてまいります。そして将来的には、自分と同じ志、同じスキルと目を持つ人材を増やすことも視野に入れ、事業拡大に努めていきたいですね！

Guest Comment

**嶋 大輔（タレント）**

我々ユーザーは不動産の知識が曖昧なものですから、業者さんに伝えられた内容に沿った手続きを行いがちです。そんな時にプロの目でしっかりとサポートしてくださる野元代表は、まさしくエンドユーザーにとっても懐刀と言える存在だと思いました。今後もぜひ、代表の知見を存分に発揮し続けてください！

